

2017年度以前入学生対象 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

1. 編成の方針

人間社会学科では、「教育目的」を達成するために、「心理コース」「経営情報コース」「社会福祉コース」「国際社会コース」という4つのコースを設けるとともに、以下の7つに特徴づけられる教育課程を編成する。

2. カリキュラムの構成

1) 建学の精神に基づく人格教育

互いの「いのち」を尊び、感謝の心で接し合う社会の創造に資する学生の人格形成を支援するために、「宗教学」を初年次の必修とし、入学直後から建学の精神について学ぶ。

2) 多角的な視点を身につける教養教育

幅広い学びを保障し、多角的な視点を身につけられる教養教育を実践するため、語学を必修として設定するとともに、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3領域から履修科目を選択する。

3) 自己実現を支援するキャリア教育

大学での学び方や自己の特性を知り、社会人に必要な知識やスキルを身につけるために、自身にあった職業選択につながるキャリア教育を実施する。

4) 学生のニーズにいていねいに対応する少人数指導

ゼミナール等を中心として、少人数編成の科目を初年次から最終学年まで縦断的に設置することをつうじて、教員や学生同士で「ともに学ぶ」ことを重視した教育を実施する。

5) 学ぶための基盤を確実にする初年次教育

大学レベルでの学習に必要なスキルと態度を身につけるために、学部共通の初年次教育プログラムを設ける。

6) 隣接する学問領域を横断する学際的専門教育

現代社会とそこに生きる人間がかかえる課題の複雑さを反映して、4コースの基盤となっている学問領域のあいだの連携を進め、隣接する学問領域を包含する、学際的な学びを実現できるようにする。

7) 各学問領域の基礎から発展までを学ぶ体系的専門教育

4コースそれぞれの基盤となっている学問領域の基本的知識・技能を獲得し、卒論につなげるために、学科共通科目のほか、学年進行にあわせ各学問領域それぞれの総論的科目から各論的科目を配置する。